

藏書

212-5
力料實諸排

年代

五十年代

編者

(筆者)

如庚

書名

非禮重寶

備考

冬

812-5
(下垣內藏)

692

宗市阿賀北五丁目三十三番八号
 下垣内和人
 電話 〇六三三三二九
 〒737

〒737
 下垣内和人
 電話 〇六三三三二九
 〒737

春王女女く
 何を中ひて居る

する時ふりて

世に於てゐる

といふはあき大

匠のちまき

うきぬき

由きぬき

うきぬき

西のきぬき

中ぬき

宗市阿賀北

うし、^{ツカ}松を^{アサ}葉す^{ササ}え

わ、^{ツチ}ひを^{アサ}葉す^{ササ}え

ほ、^{サカ}さ^ミを^{アサ}葉す^{ササ}え

切、^{ツチ}きり^{アサ}は^ミ白^{ササ}く^{ササ}え

と、^ミハ^{アサ}ふ^ミね^{ササ}し^{ササ}え

わ、^ミぎ^{アサ}し^{ササ}え

ほ、^ミを^{アサ}葉す^{ササ}え

み、^ミべし

同、^ミ字^{アサ}不^{ササ}同^{ササ}え

は、^ミさ^{アサ}の^{ササ}白^{ササ}く^{ササ}え

し、^ミ葉^{アサ}つ^{ササ}え

も、^ミさ^{アサ}り^{ササ}て^{ササ}え

さ、^ミあ^{アサ}ね

一、^ミち^{アサ}は^{ササ}く^{ササ}え

仲、^ミち^{アサ}ら^{ササ}く^{ササ}え

足、^ミふ^{アサ}さ^{ササ}く^{ササ}え

よ、^ミせ^{アサ}く^{ササ}え

一、^ミ行^{アサ}は^{ササ}く^{ササ}え

一、^ミ行^{アサ}は^{ササ}く^{ササ}え

余、^ミは^{アサ}く^{ササ}え

一、^ミ行^{アサ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

四、^ミり^{アサ}は^{ササ}く^{ササ}え

サ、^ミく^{アサ}し^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

さ、^ミる^{アサ}物^{ササ}は^{ササ}く^{ササ}え

▲いゝ所しや

とくろ

側。○。園ある物へともて
●。園ある物へ能く

其数くは兩通かぬ

さきもの物へともて

よきもの物へともて

名ある園へともて

れきき

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

四季中。おききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ

おききハききハききハ



俳諧重寶摺火より目錄

百韻之法

六丁

哥仙之法

七丁

四十四之法

四丁

句數之更

四丁

可隔二句

八丁

可隔三句

四丁

可隔五句

四丁

似也物

附奇

九丁

切字

十三丁

現在

四丁

未來

十丁

過去

四丁

常ぬ

四丁

あゝぬ

四丁

あゝぬ終り

四丁

あゝぬ

四丁

下ノ句ノ少多

四丁

下ノ句ノ多

十五丁

はく五 十五丁

るゝかゝる 四丁

さゝかゝる 四丁

さゝかゝる 四丁

さゝかゝる 四丁

さゝかゝる 四丁

さゝかゝる 四丁

下、句四三ノ嫌五十六丁

文字餘リ之五 四丁

親ウ法ウ之五 四丁

付ウ心得之五 四丁

同字別吟 四丁

親ウ書子、他借好也 十七丁

後法家秘部也、好也 四丁

天祐漢、多也、好也 四丁

新法好也 十八丁

元新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

新法好也 四丁

植物

六十丁

器財

六十九丁

戀

七十五丁

詞

七十九丁

四季

百三丁

漢和

百四十丁

狂聯

百四十二丁

目錄終

百韻之事

面八句

發句

其時の事物をいふも
五文字より申く七文字
はよくしるべきなり
とてよそ一句は同様に
しるべきなり
字よりよそは七文字
よりよそは七文字

脇

發句の心なげしむるの事
をいふもよくしるべきなり
軒簾をいふもよくしるべきなり
又山をいふもよくしるべきなり
はあの名なげしむるの事
をいふもよくしるべきなり
れあをいふもよくしるべきなり
よりあをいふもよくしるべきなり

第三

細よりしるべきなり
はあをいふもよくしるべきなり
よりあをいふもよくしるべきなり

裏十二句

ハクノ月秋十一句ハ
カノ定カ

名残、面十二句

十一句ノ月ノ
定カ

名残、裏六句

五句ノカノ
定カ

上三十六句ノカノハ
百韻ノカノ

四十回之法

百韻ハ初カノカノカノ

正カノ教四十回ノハ百韻ノカノ

句數之事

春秋

ハ三句ニテモ五句ニテモ
ハカノカノ

夏冬神祇 尺教 述懷

夜分 山類 水邊 居所

旅

ハハ一句ニテモ三句ニテモ
ハカノカノ

戀ノ句

ハ二句ノカノカノ
ハカノカノ

天象 人偏 衣類 生類

聳物 降物 名取 食物

植物 藝能 時分

ハハ一句ニテモ
ハカノカノ

カノカノカノ

可隔二句

月 日 星 降物 降物

木 草 鳥 獸 竹 木 人

ノ名取ノカノ 奥ノカノカノ

名トノ

カノカノカノカノカノ

カノカノカノカノカノ

カノカノカノカノカノ

可隔三句

山類 水邊 月生 猿

后ふふふふふふふ

祓祓ふふふふ

新ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

可隔五句

衣四季竹田船

後月松枕煙路

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

又ふふふふふふ

あつね まいね やまね らね
 うさね まりね さきね らね
 あつね ういね くらね くらね
 といね くらね ゆきね くらね
 まりね ういね つらね まりね
 ういね ういね 大略ね まりね
 まりね まりね まりね まりね

ふいね文字

是はふいね

さりね あつね やまね うね
 うね うね うね らね
 まりね まりね 不況とくらね
 まりね まりね

あつね文字

あつね あつね 野ね 野ね
 あつね あつね 野ね 野ね
 あつね あつね 野ね 野ね
 あつね あつね 野ね 野ね

おし留

おし留

あつね あつね くらね くらね
 あつね あつね くらね くらね

下句ノお留

七文字くしおし文字のあつね
 大略のあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

下句ノお留

あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

おし留

あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

おし留

あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

あつね文字

あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

あつね文字

あつねのあつねしおし文字の
 あつねのあつねしおし文字の

あつね文字

いふかゝるにあらんか
いふまゝにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか
いふやうにあらんか

活をてはぬ

引をよみて
いふまゝに

かぬえ

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

かぬえ

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに
いふまゝに

下ノ句四三ノ嫌事

二五四三ノ嫌事

二五三四ノ嫌事

文字餘ノ事

當世好まずり
三三十五文字と云ふ
五三十七文字
と云ふ

と云ふ

親ノ疎ノ事

五七五ノあり
を記す

我輩の人
と云ふ

口傳又津白
と云ふ

いふまゝに
と云ふ

いふまゝに
と云ふ

いふまゝに
と云ふ

いふまゝに
と云ふ

付句心得之事

視ノ趣ノ言ノ野

財多勢大 故送

十日勤行

見体六甲一を居
と云ふは字体も体も
多ししも三つをけりしめ
多しししも三つをけりしめ
此二重をくし人休用体も
く用と云ふはし

同字別吟

命 勅命 中風 中

弥勒 彌陀 黃泉 泉

春日 日 坑紫 紫

月 月 代 代

孟蘭盆 蘭 孔雀 雀

開 開 西王母 母

天智天皇 龍主水

氷様 地蔵 截

南無 無 行 行

久々 久々 田字 田字

促 白養子之俳借物

離別 別 表

中惡 返 歸 別

廢 暇 嬪 天 後 亦

後連 古枕 二度 花

古哀 陳明 二度 咲

追出 鐘 猿声 虎 谷

服之 九裸 くも肌

ふけあめ つりまふ

師近親老人 嫌物

うけり ふりたれ

しんぞく ふれをん

あま いあふく 迷

船中俳僧 嫌物

ふ ふび 風あふ

病家 嫌物

生死 無常之沙汰

出家ノ一住之用捨

惡名 破戒

追善 用捨

迷 迷 墮獄 ホ 沙汰

苦 クル 悲 ヒ 沙汰

可有 用捨 詞

火事沙汰 斬罪之沙汰

乱世 五體不具之沙汰

可有 嗜 詞

士 サ 農 ノ 耕 ノ 作 ノ 詞

工 ノ 面 ノ 商 ノ 面 ノ 詞

方 ノ 詞

軍 ノ 兵 ノ 詞

家 ノ 詞

早 ノ 詞

早 ノ 詞

其後、
カヤニ
 此の
ハナニ

[illegible]

いづれにせよ、
生ずるは、
死すは、
定むるは、

井
井
井
井
井

中
すれ
は
い
の
む
古
ふ

五

五十五

又原校

いふ
いふのまゝ

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

ふえあめい

今皇太子

はるかに

ひそ子ねこはなうしろ

ばり次
すれんし
とて

舟多

あき
あき
あき

胡

才
色
名

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100. 101. 102. 103. 104. 105. 106. 107. 108. 109. 110. 111. 112. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 119. 120. 121. 122. 123. 124. 125. 126. 127. 128. 129. 130. 131. 132. 133. 134. 135. 136. 137. 138. 139. 140. 141. 142. 143. 144. 145. 146. 147. 148. 149. 150. 151. 152. 153. 154. 155. 156. 157. 158. 159. 160. 161. 162. 163. 164. 165. 166. 167. 168. 169. 170. 171. 172. 173. 174. 175. 176. 177. 178. 179. 180. 181. 182. 183. 184. 185. 186. 187. 188. 189. 190. 191. 192. 193. 194. 195. 196. 197. 198. 199. 200. 201. 202. 203. 204. 205. 206. 207. 208. 209. 210. 211. 212. 213. 214. 215. 216. 217. 218. 219. 220. 221. 222. 223. 224. 225. 226. 227. 228. 229. 230. 231. 232. 233. 234. 235. 236. 237. 238. 239. 240. 241. 242. 243. 244. 245. 246. 247. 248. 249. 250. 251. 252. 253. 254. 255. 256. 257. 258. 259. 260. 261. 262. 263. 264. 265. 266. 267. 268. 269. 270. 271. 272. 273. 274. 275. 276. 277. 278. 279. 280. 281. 282. 283. 284. 285. 286. 287. 288. 289. 290. 291. 292. 293. 294. 295. 296. 297. 298. 299. 300. 301. 302. 303. 304. 305. 306. 307. 308. 309. 310. 311. 312. 313. 314. 315. 316. 317. 318. 319. 320. 321. 322. 323. 324. 325. 326. 327. 328. 329. 330. 331. 332. 333. 334. 335. 336. 337. 338. 339. 340. 341. 342. 343. 344. 345. 346. 347. 348. 349. 350. 351. 352. 353. 354. 355. 356. 357. 358. 359. 360. 361. 362. 363. 364. 365. 366. 367. 368. 369. 370. 371. 372. 373. 374. 375. 376. 377. 378. 379. 380. 381. 382. 383. 384. 385. 386. 387. 388. 389. 390. 391. 392. 393. 394. 395. 396. 397. 398. 399. 400. 401. 402. 403. 404. 405. 406. 407. 408. 409. 410. 411. 412. 413. 414. 415. 416. 417. 418. 419. 420. 421. 422. 423. 424. 425. 426. 427. 428. 429. 430. 431. 432. 433. 434. 435. 436. 437. 438. 439. 440. 441. 442. 443. 444. 445. 446. 447. 448. 449. 450. 451. 452. 453. 454. 455. 456. 457. 458. 459. 460. 461. 462. 463. 464. 465. 466. 467. 468. 469. 470. 471. 472. 473. 474. 475. 476. 477. 478. 479. 480. 481. 482. 483. 484. 485. 486. 487. 488. 489. 490. 491. 492. 493. 494. 495. 496. 497. 498. 499. 500. 501. 502. 503. 504. 505. 506. 507. 508. 509. 510. 511. 512. 513. 514. 515. 516. 517. 518. 519. 520. 521. 522. 523. 524. 525. 526. 527. 528. 529. 530. 531. 532. 533. 534. 535. 536. 537. 538. 539. 540. 541. 542. 543. 544. 545. 546. 547. 548. 549. 550. 551. 552. 553. 554. 555. 556. 557. 558. 559. 560. 561. 562. 563. 564. 565. 566. 567. 568. 569. 570. 571. 572. 573. 574. 575. 576. 577. 578. 579. 580. 581. 582. 583. 584. 585. 586. 587. 588. 589. 590. 591. 592. 593. 594. 595. 596. 597. 598. 599. 600. 601. 602. 603. 604. 605. 606. 607. 608. 609. 610. 611. 612. 613. 614. 615. 616. 617. 618. 619. 620. 621. 622. 623. 624. 625. 626. 627. 628. 629. 630. 631. 632. 633. 634. 635. 636. 637. 638. 639. 640. 641. 642. 643. 644. 645. 646. 647. 648. 649. 650. 651. 652. 653. 654. 655. 656. 657. 658. 659. 660. 661. 662. 663. 664. 665. 666. 667. 668. 669. 670. 671. 672. 673. 674. 675. 676. 677. 678. 679. 680. 681. 682. 683. 684. 685. 686. 687. 688. 689. 690. 691. 692. 693. 694. 695. 696. 697. 698. 699. 700. 701. 702. 703. 704. 705. 706. 707. 708. 709. 710. 711. 712. 713. 714. 715. 716. 717. 718. 719. 720. 721. 722. 723. 724. 725. 726. 727. 728. 729. 730. 731. 732. 733. 734. 735. 736. 737. 738. 739. 740. 741. 742. 743. 744. 745. 746. 747. 748. 749. 750. 751. 752. 753. 754. 755. 756. 757. 758. 759. 760. 761. 762. 763. 764. 765. 766. 767. 768. 769. 770. 771. 772. 773. 774. 775. 776. 777. 778. 779. 780. 781. 782. 783. 784. 785. 786. 787. 788. 789. 790. 791. 792. 793. 794. 795. 796. 797. 798. 799. 800. 801. 802. 803. 804. 805. 806. 807. 808. 809. 810. 811. 812. 813. 814. 815. 816. 817. 818. 819. 820. 821. 822. 823. 824. 825. 826. 827. 828. 829. 830. 831. 832. 833. 834. 835. 836. 837. 838. 839. 840.

ほろり
きつめ
のりて
鬼を

了
人
子
海
集

可
之
之
之

卷之四

とこみ
とこま
あ

五
烟

りよふ
はるま
ちよふ

[illegible]

引子

如才
竹葉
如才
如才

好
世
み
る
ま
じ
り
の
う
た
は
な
し
の
う
た

わづはく 礼拝の

をまじひて をまじひて をまじひて

ふやち 此れ名 なり なり

わはてわづ わはて わはて わはて

わら わら わら わら

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

わ わ わ わ

と

わらわ社

あきり

あきり
あきり
あきり

あきり

あきり

あきり

あきり
あきり
あきり

あきり

あきり

あきり

あきり
あきり
あきり

あきり

あきり

あきり

あきり
あきり
あきり

あきり

あきり

あきり

あきり
あきり
あきり

あきり

あきり

ひつ

ひつら 穂

ひつ

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

ひつら 穂

あがたぐ 五妻

あぢの
行通

うゑのね

漢子從中

いものや

李

七
上
下
合

ひさし

り
の
ま
り
に
て
る

今

11

天八二句去
居八二句去
風八二句去

四つ所あり又玄財の来由なり
うゝハゝゝにあらん

房名ニ今まゝ
 五ツの角をト
 家
 此
 風
 一ツ風体
 八ツ集ニ

二句を凡そ二字ニ寄。
まゝあつて二面をさす。家
此子

居イニヤリ
シタ
庵ヲイハス
二ツ居カマアキハヤリ
御書 居室の内又立

主^カ次

字ニハ三句。礎 かたみ
さへー しる

岩ニ面をさへー しる 七句。ト
居ニ三句 土衣

居ニ二。岩屋 ツ 居ニ三句 土衣
句 の字ニ三句岩ニ二句

外ニ真砂自砂岩七句。岩 三ツワ
と △岩垣ハ居不あり 居 の字ニ三句

石 二ツ 岩面をさへー しる 石鳥石りら石火
矢石塀燃石名不ノ石山ハ

のりく基双六ノ石外ニ是
まみ七句 △石不 他居

頁 の字 居

壺

ろくろくろくろく。上野

龍田

龍田は七句龍の字に云う事田ハ

筑紫

筑紫は筑紫の字に云う事

生ノ字ハ云う事

筑地

筑地は筑地の字に云う事

土

土は土の字に云う事

塚

塚は塚の字に云う事

名

名は名の字に云う事

一里塚

一里塚は一里塚の字に云う事

半

半は半の字に云う事

高樓

高樓は高樓の字に云う事

池

池は池の字に云う事

欄干

欄干は欄干の字に云う事

蔵

蔵は蔵の字に云う事

棟

棟は棟の字に云う事

羅生門

羅生門は羅生門の字に云う事

室

室は室の字に云う事

八嶋

八嶋は八嶋の字に云う事

野邊

ろみじの系りへきとやうに
てうへしの中も原も三百と

あゝと云ふは
わをいふて
野^ノ
原^ノ二句をい

野のを

人物にすう野末の字二自す人此
山形下地より下

字三句
熊野
那智本宮新宮
廿白くす

馬場馬の生る方

草菁グサの厭ウツニニ井筒イダ

万
 二
 草
 二
 二

草薺草戸草ヲ菴皆人の胸懐をうつ
り金りふふふの秋朽をうつとし

産家ウツヤ
産一誕生一子と云うより
居不三句と求の字五句を

暖簾ハシ 可レ 布又。村

ニウミクモハ又ルハ上ニミナリ
ヒナハヒナハ鳥ハミナリ

國の字面ヲ國ト變面をとりし國ニ州七句をく國の名ト國の名ハ二句をく

他ノ國人ノ字ニ句を以テ何國と
云テ國の字と云ふ人

軒^〇 三ノ居アリ坐ノ軒ノ類共ニ之ヲ
▲軒ノ玉水ハ亦込ニ物アリ

廊下居間

茶屋。屋ノ字ニツキテ茶屋。

酒屋ホノ家藏ノ外西ウチアル

屋久ろ居あし金形舟

お。や。お。や。松。門。

之類あり
居あり
山科
山科あり

八幡ハタ 一ノ名ありとちゆん 難二カキ

一、あしすりかすみのほろろ又

天守 石の城ニ
木ノ葉、里

風呂フウロ 風呂フウロ

二句 燈 三句

在^{イサ}郷^サ

ろへありし里あり。サトニ
色玉あり。三つ人し。里

二句も。名あり。里。二つ。一村。二
居あり。竹。一村。音。二つ。以上三

三熊野。ろ。名あり。三。野。ろ。の

道。ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

ろ。名あり。ろ。の。路。の。字。二。句

河内^{コノエ}中^{ナカ}水^{ミヅ}二^ニツ内^{ウチ}と^トた^タと^トそ^ソと^ト上^{ウヘ}

石²⁰
 ニウ^ニマ^マカ^カニ^ニマ^マカ^カ
 ヌ^ニウ^ニマ^マカ^カニ^ニマ^マカ^カ
 獄^ニ
 糸^ニ

貴子スノユ
 一う居てしゆす
 透垣スノカキ

二ウミヤク
三ウミヤク
椽^{エシ}
二ウミヤク
三ウミヤク

秋[○]に窓^ぶ恒^へに^にす[○]

ニウ居ホニニ句にの字居の字共ニ云
栖一住と居ト居トハ面をくらふへし

栖不居ニワ居カニ勺シヤウノ位イノ字ジニ勺シヤウモ
家カニ三サン勺シヤウモ隠カクレ家カ山サン家カニ五ゴ勺シヤウモ

廣間 セト 廿一 ハネ 千 ハネ 一 ハネ 一 ハネ 一

鈴廉 スズカ 去之鈴字八面五五上

上
東路より東に折る

▲ 東よりふとて
ふりてふとて

山類

三向去

香初瀨寺

山崎田 二つ中へ新八重と云物
あす火二句と云田七五と云へ

同
又

齊
公
三
子
歸
臣
子

小³⁷⁰ 孟^{シホ} 一^ウ 埽^ハ の字 小^コ 鳥^{トリ} 一^ウ

字三白
小字月一

づゝの志づゝ久年病の癢

けうハム類

曝布 ハクキ

一、在俄國以八山對馬邊之海四つ角之

谷 二ツ多石

司カ良子ニワ嵩タケ峯ミテいうふふふふ

三句も
高ノ下
ヤハク
カノ

三十一

又云、少子カヤサハのソハ
カヤサハカヤサハ

松木 マツキ 二ツ花物

あしふねぐさ
山はふねぐさ
奥山おくさん

解由
ろくは四よりい又置
もろく一座一合
男山

山 字去く 山 山ノ又ハ秋
 山 山ノ又ハ秋

▲山の市にありあり面をくらあし
▲山の瀟山の栗ハナう物あうす

▲山めとニ峯出嶺尾上ナリと云々
▲山ニ山めを折を云ふの云々

山下山あり人に新ハサベケケ

▲山崎くはまのうゑのつか付うゑのうゑ

山住
山人傷
あふ山
数あり

山姫乃 宿紙あり 山有 關

五
 山

都金山 關東ノ五山
尼寺ノ五山亦ハ
山梨山島

物く とう 山^の け とう 山^の け

松嶋山類通富士山

ろく 富士トハ
山勢のまじし
林麓
ろく 名不ふ
しうた七句も

御
あふ
ろ相二句合上
魚二字ハ三句

[illegible]

老坂ハ清水^ハ清水寺^ハ同レ峯

うり名不又なりや
 の字も同うゆし
 木曾
 木ノ

字二句
▲木曾路八山難也ス

經 關 ニリ各ハニリ又目ノ開ク
カクシ音月ハテ又ニ

石所も旅ゆりあり
井七句すく
炭竈
よみ

水邊類

三句まで

各池 只二つ名本二つ以上四つ
無幾池 功德池 池の尾 堀池

僧正名本ありしときありす
おきく入てきし右四つ
堀池

堀池の面をきくし
堀池の二句あり

石清水 岩より水をきく
泉

二つ名本二つ以上四つ
泉

岩橋 二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

二つ名本二つ以上四つ
橋

星

二ツ名不三ツ大津難波津
小字去入天津奥津水津

文字ミ

難波津二ツ難波に
ミ津波の字

けそとくしーしす

▲難波津のいふところをさづける

▲難波二ツ一とさきよし

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

月の山

二ツ名不三ツ大津難波津
小字去入天津奥津水津

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲難波二ツ一とて又さきと二ツ

▲たけの松沖産物と云ふ事ハ
皆此ノ

松カ崎ノ物ナリ。ヤシノ

みナリ。又ノ

柴漬シロヤシシロノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

水ミヅヲミヅノ物ニ

白川 關山越え 崎

き又。わ。鴨。物。性。海。

嶋。ニッ。名。云。云。近山。越。川。海。

中。海。亦。近。山。越。山。越。山。越。山。

又。あ。り。り。の。難。車。海。水。の。国。名。山。

形。の。近。山。越。山。越。山。越。山。越。山。

海。水。の。国。名。山。越。山。越。山。越。山。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

海。士。の。字。ニ。云。云。海。士。果。の。海。士。

癸

漁

۱۰۰

いふは

住吉神一ツ名

二句去之

川音此
七句

神のゐ
所の字ニ有る

のち
下秋
二句
を
し

三句よりお、より物三句よりおま
△おまよりより秋△おまよりより

同
秋

用此可也

結○乃爲了轉○字○字去

六花 ろくか 正花にあらず

忘雨わすれ村むらい
句くら

春れ雨と

木子
木子
木子
木子

町
友
冬
冬
吹
石
一
風

雪 雜 木

奴
七句

雨四ノ雨三多打多不面

あめと四つあす
あめをいふは
雲
五句さし
集物珍

芳名をいふはむしり
 芳名をいふはむしり

[illegible]

あふまふ。電

をふあわたりてハナク物ニ

路馬

雨雲

一ツの体よりて

五月雨

梅のぬりさ月の

音二ツ上り下り白ニ

白雨

字ニ二句をハサキし

雪

四ツ音ニテ

雪ハ四ツ

電ホ七句去初雪

雨ハ五句

霜

初霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

霜

燭も灯心灯臺ノ類モ 灯火四ツノ
△より火ニ至ルモ梁面よりさうのう

物人倫之てまじりあはれり

△月次の月つめハみ月
月々月 霜月ホノミ是ハ
あす是ニ有明ニ句ふ日星ハ
句とつて△月次ニ正月月廻ニ句
菊月神無月ノ類五句去△月名
くニ三句去△三月月二

△三月月二三月月二ハ皆冬
他の季ニ又三月日付も三月
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△月ハ霜まれし入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬
△月ハ冬ニ秋の二句入て三月物
△三月月二三月月二ハ皆冬

句体より 生類へ 血 二句 秋へ

生類へ 二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

二句 秋へ

曉トキ云々其曉トキ也
(183)

かろい
はる
はる
きし
はる

有ノ字ニ句ヲ用、字ニ句

灯のあり月と月山との名を共ニ三つ
の内に▲者の月次、月ハ二句を

五月五日のハルノヒ

つげ、あゝ、ろくろに月を照し
と結してとある人

¹⁰
 月
 けられ月を
 ねむる月又
 ねむる月又

輕重の程をさすもの

ルニ要うらふにふしう皆あ

下ノ句ニ留ズ月の

木見 ありつゝと云ふに には

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

朝
堂
之
中
有
一
物
如
此
之
大

朝に於て我々の

如月二ノ月次ノ月衣
字共三ノ句菊月

二句まゝ 霜月 二句まゝ

月次ノ月ニテ
夕月あけの夕の字の

此月二ワ
三ヶ月
一ウ

ハルハク、し、拙の字に。
夕まゝ

り初八辰星とノ星の名し

星六面をすくふ月十日二句去こ
女月二句天象入目二句物。

月乃知分ハあり

中 恒 入 新 虹 又 ラ 夕 暮

大民夢笑衣外に面をまき上

夕
夕
夕

夕五
夕五

九十九の三句まで、五十九の六の六
を秋の七れうめく二句とし

▲夕稜夕々川。其名の
字より身名あり

とりあらずに夕三句言ふ二句も入
あらずに宵一面をすいふ三句も入

夕陽も
あけな

いづき
あす

子。乃。子。里。麻。小。和。小。
世。小。九。字。分。句。其。上。

し 夢
你更 夢
秋の夜

云々也。又、
おをさうし

水鏡
さうりく
夕句
ふし
明星

[illegible]

目二万七千人、其うち

えりあふしあしつれの人いもど

く衣の字ハ二句に入意のりれ七句

可かとし只ただ教をくわ
言い立た句こ

[illegible]

△月日れを要とて又い

○此世は、
幸す

物
月
夕
子
の
字
列
有

下
細
糸
を
き
く
ふ
の
し
何
う

△伊の字三つをさへて あふれり

天竺川名所云ハハ邊也

秋風あきかぜ

らう秋風と云うあれも。
のまの風と云うハヤ。秋空

芳史○Pニヒ

幽靈 コウレイ ところかす二

酒代のな^{シロ}温^{アタカ}

多し。のうとくをいふ。
多し。のうとくをいふ。

つて、善くせん

登トウ由ユ火カ燭ロク臺ダイ いふく

火臺

行燈新をささるなり
いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

神祇類

三句まで

香今宮

神祇

齊宮

名ありこりくいつは此まきてさくら
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

いし 燭臺ハ仲つは火中
いし 燭臺ハ仲つは火中

しコト女メ小忌コト衣キ 女メ四ツ此内女性女松ホ
此女七句も皆一ツ

神カミニウ名神一ツ名取ノ神ヲ以上
神四ツノ神ホホミナトハ面とヤ

▲神カミヲケシハミナシ
神紙尺教共ニ二句モ

社ヤシロニウ 金枝カネエデ 戸カドカ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

社ヤシロニウ 社ヤシロニウ
社ヤシロニウ

祇衣

紅繪馬（一）二面（二）蛭子（三）

祇し▲東夷（一）西戎（二）小狄（三）而蠻（四）云

すへし佛し（一）難夷面をさふし

びん（一）し（二）神籬（三）まじ

びん（一）し（二）火焼（三）を

う（一）お（二）子（三）を（四）し（五）紙（六）し

尺教類 三句き

持佛（一）二（二）念佛（三）佛師（四）佛道（五）あ

う（一）し（二）佛（三）加（四）來（五）喜（六）薩（七）佛（八）の（九）男（一〇）

う（一）ま（二）し（三）ね（四）え（五）鹿野園（六）集（七）

あ（一）も（二）あ（三）の（四）え（五）と（六）し（七）る（八）句（九）体（一〇）に（一一）り

秋し（一）庫（二）四（三）の（四）り（五）

塔（一）二（二）層（三）一（四）と（五）三（六）層（七）の（八）後（九）塔（一〇）

坊（一）六（二）層（三）六（四）層（五）省（六）一（七）里（八）一（九）の（一〇）

た（一）れ（二）し（三）あ（四）し（五）衣（六）類（七）に（八）し（九）と

字（一）三（二）句（三）去（四）た（五）血（六）た（七）た（八）た（九）た（一〇）

頭襟（一）二（二）句（三）去（四）布（五）試（六）

ろ（一）人（二）佈（三）あ（四）し（五）う（六）ろ（七）ろ（八）ろ（九）ろ（一〇）

東堂（一）二（二）層（三）四（四）層（五）坊（六）主（七）法師（八）

入道（一）發（二）心（三）鉢（四）叮（五）陪（六）堂（七）

秋（一）六（二）句（三）日（四）鉢（五）鉢（六）鉢（七）菩（八）提（九）

導師（一）二（二）層（三）鉢（四）鉢（五）鉢（六）鉢（七）菩（八）提（九）

法橋（一）坊（二）友（三）法（四）鉢（五）尼（六）公（七）

六字名号 菩薩名

菩（一）り（二）じ（三）菩（四）り（五）じ（六）菩（七）り（八）じ（九）菩（一〇）り（一一）じ（一二）

長老

上人佛あし和尚わう鳥鐘カネ響ひびく

あしあし危あやう氏し人にんたたゆゆよりよりててのの名なし

あしあし鐘カネ響ひびくあしあし鐘カネ響ひびく

地蔵チゾウ二につ蔵ゾウのの字じ面めんをを地獄ジヨク

へへうう鬼キ付ツキ餓鬼ガキ二につ鬼キををああふふ

持戒チカイ二につ破ハ戒ゲののれれいいカカ井井魚魚

人佛にんぶつ二につ開山カイサン律師リツシ和尚わしやう喝ハク

食シキ伽藍カラン輪宝リンホウ一一つ鐘カネ流轉リウゼン

茶湯チャトウ

其その曉あけ二につ世よををああふふるる二二つつ

僧そう二につ人にん佛ぶつああふふるる但た小こ僧そう鞋セ二二つつ

卒そつ都婆とば二につ印イン持チ二二つつ

後のち一一草クサ一一古コ一一秋アキ也ヤ一一峯ミネ一一

羅漢らかん一一谷ヤ一一惣ソウ一一護ゴ一一

素絹すけぬ二二つ衣イ二二つ鈴スズ二二つ金キン二二つ

談義だんぎ一一僧録そうろく一一僧正そうじやう一一頭陀だうだ

念珠ねんじゆ一一祖師そし名な

室むろ二二つ戸ド二二つ居イ二二つああふふるる寺テ二二つ

運ウン二二つ水スイ二二つああふふるるのの水スイ二二つ

印塔インダウ二二つ堅ケン二二つ

羅漢らかん一一功德くんとく一一

灌佛カンブツ一一位牌いはい一一火宅カタク一一因果いんぐゐ

院家いんけ能化にっけ一一灌頂カンテイ一一藥鐘ヤクカネ

去こ二二つ佛ブツ二二つああふふるる七しち句く一一

法華經ほふくわきやう二二つ題目だうめ一一

觀念。じ。世界。何。ひ。の。ま。

院。ニ。ウ。。

山。伏。一。う。人。傍。し。山。類。三。句。去。

寺。三。う。居。云。あ。う。す。も。留。子。此。時。も。

二。句。ま。し。居。云。ハ。あ。う。す。サ。う。一。後。

庫。裏。眠。藏。分。け。し。う。う。う。う。う。う。

律。一。禪。一。真。一。山。一。里。一。

古。一。念。佛。一。清。見。一。源。一。

荒。一。難。波。一。三。井。一。初。瀬。一。

寺。内。寺。家。塔。以。

換。授。う。傍。友。人。傍。あ。う。

心。月。う。尺。あ。く。ハ。三。方。ま。く。

佛。像。木。一。座。一。年。一。集。花。

金。剛。杖。一。う。一。接。杖。國。師。

外。道。居。士。

阿。弥。陀。一。う。一。多。う。出。家。

尼。一。う。尼。う。誘。一。十。德。一。う。衣。類。

面。壁。一。う。望。二。う。一。峯。入。一。う。終。

あ。う。も。竹。一。う。子。一。一。掻。也。

切。一。う。一。う。物。一。一。一。子。

火。一。う。一。う。一。一。一。一。

紫。雲。來。迎。一。う。一。一。上。人。

聖。人。首。座。一。う。一。一。一。一。

藏。主。書。記。

沙門・桑門・沙弥・行人

阿闍利・取化・新發意・

釈氏・坐禪・修行・金目

經・經帷・三界・十界

諸佛・名・眠・藏・

征

彼岸・秋・

持・侍・甘・白・持・西堂・

の

の・の・の・の・の・の・

門・跡・禪師・禪門・

尼・施人・廻向・施我鬼

非時・珠數・百八・木・

腕・香・鈴・

人倫類 二句去附此人倫

母・二・

と・と・と・と・と・と・

と・と・と・と・と・と・

と・と・と・と・と・と・

友・

と・と・と・と・と・と・

と・と・と・と・と・と・

と・と・と・と・と・と・

と・と・と・と・と・と・

友・達・

佛・法師・

鑄物師・

屠兒男・

同宿・博士・鉢・

祖母番遊家

たてのしやうにたのふに遊戯

ばらサ 道心者 一心爲要
心懷く

存 父^{カシ}母^{イロ}祖^サ父^ニ兒^コ
ハヤメ

兒・子面
とく
若衆
若衆
？

老若木に若くす
吾輩

あし妹面をすゝん我々ハ。ワカキ。
面玉もあつし

ろろれ字
ろろれし
勅使チヨクシ
ろろれし
ろろれし

地頭トウ 家人カ 人ニ 人ニ

声いゝとて人の字付てすらうり

金師ユうニめニ金人傳ニあニまニすニ

人ろ 陽林 白波 巾 垂る 力

通三
 林
 抄紙
 白
 父
 白
 母

ちを三高まほが。か。一りみ

うしろひつ只一▲サニハ面とさ

めめ猫^ヲイ^ハる^ノ七^ノ句^ヲの^ノ字^ハ三^ニ
 主^一。成^六立^五聖^二。都^ヲイ^ハル^ノ人^一

[illegible]

長者
咄カウタ言コト
坐イマス地チ

齊
壁
隆

△
○
二
一
力
未
ハ
ニ
ヨ
リ
テ
集
蓮

毒妻 面をこらふもの

影のつゝとろ生れ又ろ
 ▲つゝとろ内系とろイシャ子ヨ
 ろ

其^{ナカ}中^{ナカ}の字^{ナカ}と立^{ナカ}の字^{ナカ}と向^{ナカ}

中より我中八面をみる
中人又る。人

以上之_レ伶人_ヲを_レ主_トす_ル也_{ナリ}

万をさし
 倭人

月
月
月

たてしや一。たのふ。盗賊。

存[○]
父^{カシ}
母^{イロ}
祖^サ
父[○]
兒^チ
ハ又[○]
ハ又^ハ

兒コ子シ面メン
若ワカ衆シユ
若ワカ衆シユ
若ワカ衆シユ

老若木れ若くは
吾妹

あし煉面をうけし我々もハ。
面玉をうけし
若君

新使

地頭のり 穽人のり 二句

先生之學
先生之學

塗師ぬりしわう物ものと又またろまてし

人・新・ち・さ・う・く
ま・さ・紙・白・白・白

くう 新 今 一 一 一

うしろひて只二▲サニハ面とす

桂女一。我六。臺二。即乳母人。

長者一 喝カフ食シキ 望一 張一 証カチ 扣一

禿
髮
壁
陰
注

己卯

△ 妻 ウツ
一ツ妹 いもうと 二人 ふたり 無孀 むしやう
面 おもて を を こ こ ら ら ち ち ゃ や の の フ フ

朝のつまげてきうすさいイ又ろ
朝のつまげてきうすさいニ又ろ

△つゝ内象と
けり面をさふ
而並昭々
をさふ

其云、中我中八面をさるる

以上之
人
百姓
子チチヒト
子イヒン

乃をさしし傳
 月女

月
丁卯
月

舟長フナナガ 船主フナナシ 小扈從ココトシ

後コト 懷イハレ 速ハヤ 殿上人テノリ 大者オホモト

藝者ゲイシャ 役者ヤクシャ 野郎ノロウ 亭主テイシュ

町人チヨウジン 賣僧ウイソウ 佛師ブツシ 下臈ゲラウ

扈從コトシ 夫婦フウフ 舟人フナリ

初 姉アネ 又マタ 弟ケイ 兄弟ケイテイ 兄弟ケイテイ

若衆ニホウシュウ 念者ネンシャ 一句イツク 兄ケイ 兄ケイ

師シ 通ツウ 主シュ 從ジュ 者シャ 主シュ 從ジュ 者シャ

師シ 通ツウ 主シュ 從ジュ 者シャ 主シュ 從ジュ 者シャ

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

身ミ 人ニン 身ミ 人ニン 身ミ 人ニン

一ウ主君と云く。松ニウ我。且那寺ハ尺妻。松ハ尺妻

俗ウ休と云え。體ハ尺妻。俗ハ尺妻

仲某一ウ。代ハ尺妻。大ハ尺妻

公家一ウ。皇女氏ハ尺妻

大君一ウ。老若ハ尺妻

能ハ尺妻。能ハ尺妻

二人一ウ。字ハ尺妻

天人一ウ。天ハ尺妻

歩一ウ。人ハ尺妻

外科一ウ。春ハ尺妻

親王一ウ。鬼ハ尺妻

須禮一ウ。禮ハ尺妻

宿光一ウ。宿ハ尺妻

酒一ウ。酒ハ尺妻

給一ウ。給ハ尺妻

仙洞一ウ。仙ハ尺妻

門一ウ。門ハ尺妻

山一ウ。山ハ尺妻

や一ウ。やハ尺妻

二一ウ。二ハ尺妻

三一ウ。三ハ尺妻

四一ウ。四ハ尺妻

五一ウ。五ハ尺妻

六一ウ。六ハ尺妻

肺キヤク 三句まゝ足ト 肺ト 使ハ
 二句ヒヤク 百姓ヒヤク 二句ヒヤク 氏ヒヤク 氏ヒヤク 氏ヒヤク
 去ク 氏ヒヤク 氏ヒヤク 氏ヒヤク 氏ヒヤク 氏ヒヤク
 一ヒヤク 大蛇モウ 盲目モウ 目代モウ
 又ヒヤク

生類

同生類三句

犬イヌ 二句ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク
 成ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク 犬ヒヤク

魚イサ 二句ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク
 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク 魚ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

蛤カキ 二句ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク
 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク 蛤ヒヤク

蜂ハチ 二句ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク
 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク 蜂ヒヤク

鶏トリ 二句ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク
 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク 鶏ヒヤク

郭カク 二句ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク
 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク 郭ヒヤク

鳩トビ 二句ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク
 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク 鳩ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

鳥トリ 二句ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク
 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク 鳥ヒヤク

音ニツミシ 虫 ニツミシ 松虫 治虫 葉虫の内ニツミ

上イウチツキ 四ウののりしき
虫めまひつるおひ ハ三句去

▲虫ニツミ 馬ニツミ 七句去

▲約ハニツミ 線ハ約ハ約ハ約ハ約ハ

ホ七句去 彈るノくまじけり

七句去 七ウのり物

▲まぐー ニツミ 七ウ

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

▲ニツミ 七ウ 二句去 約ハ面と

ううづ 孔雀 ううづ 雀

ううづ ううづ

秋へんわ 串蛇 ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

ううづ ううづ

▲花より葉にぞしん事なき葉子
はるかにぞし

▲夜に香ニ神の香面と云うて人の
香も面もせうて

▲花血 花血 西楚人之物 是也

物之性久矣。此久矣。知。

▲花の信より来れり云々ある
▲信の来りたる所よりある

此を以て西に
▲またのやうに西に

人物三句をく
たの却正をく
句傳ふり也

▲花のつとむる花は難く、夏に花を結ぶ花は易し。

▲花くしふ花くし物ニ云く
花の字ニ三句をく花くし花くし報有之

古きものゝ如き人傳ふ可し
 今の新しきものゝ如き人傳ふ可し

花のつり西ゑへて物二百を
 ちり侍よりて

長き一丈四寸五分
 幅一丈二寸五分
 厚一丈二寸五分

たつて正花と雜々人物の通々

花の裏 西花と云ふは物に
花の代 西花と云ふは物に

花車正衣しきし人物也

此其壺正然くまきく物

此は若の字ニカケ

物三二句

卷之六

とぎふ竹門ハ三句も燦竹
二句もくす竹ハ五句もく

▲ちりあふ彩竹のま 五句もく

▲竹の林竹林精舎天竺の名なり

▲七賢うけし竹林おも竹五句も

▲竹垣人物く

▲竹里竹ハ竹三句もく

▲竹すのこ竹のあふたあふれ竹

▲人物あふ竹 高砂の松人物
五句もく

▲竹ハ ちり中焼面をきく余ハ二句
サキもく 推まし二句もく

♪ ちり物ニサウ
とさるる

橋 ちりちりたの字ハちりちり
たつく九年毎きく春柑の

由又ちり中 ちり新く穂秋
空ちりし ちり花ハちり

♪ ちりちりちり人物く

衣類之ちりちり ちり花ちり
三句もく

之新く人物 椿 ちり新く花
二句もく

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

中 根ハちりちり ちりちりちり
ス 根ハちりちり ちりちりちり

答 ちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちり眠 根ハちりちりちりちり
面ハちりちりちりちりちりちり

少人ちりちり 田代 ちりちり
面ハちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

梅子 ちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

月次 ちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

南天 ちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

ちりちりちりちりちりちりちり
ちりちりちりちりちりちりちり

あまのし
いそて
性オモキ木
ろく物三
たのむと

三句まで
いしとん
家
ル
梅
六
梅

室の字ハカニニ室一
ひろ君ニ上ニツキ
し

[illegible]

る秋にふいふ花を散りし

支シ子シ
支シ子シ孫ソ先セン一イチ
植ウエ田タ

二つ人物に於てときより相田

秋の田より刈りて 田と名づく

田三
田二
田一

麻あしめんとく物二有ま

甲子のしのみもま

早苗稻畠

二句去△田代唐房云二句之秋
之物二句去△門田〇

三句を
り

又さへしつ物
古
秋

人物二句支し

又「**ば**」は「**る**」の字
たの字ニ二句を

ちんき
ろ秋之物にまゝ
まゝ、ろあつち

車前子

二物ニナ
一句も
~~秋~~
又ニ
秋入季をわえて
又ニ
あそび

此の如くも此の如くも此の如くも
 此の如くも此の如くも此の如くも

[illegible]

新リ一リ秋ニ一リ芳ニ芳ニの
今ニ花ニ

たのきものふーう　くきむーう　望三
きものふーう　きふふ　ふあ

やうな野にまゝいす
まじろゝ物なるとは知らず

要の序ニ果垣ニ句を
きし人物ニ句を
要の序ニ果垣ニ句を

句まゝ「葦」の字に
村草とされゆくハ村の字草の全

三句まゝ ▲ 子・子・子 三句まゝ

▲ 子・草子 草葉真草行のれい三句まゝ

▲ 子と子一り ▲ 菊葉のり三句まゝ

面をまゝとて ▲ 牧童三子刈ハ面をまゝとて

子と刈とつゝハ二句まゝ ▲ 子と枕一り

▲ 子と枕とハ人物あふ

秋 ▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

▲ 子と子と子と

くねきふり 鶴のたより

面をふりふり 牡丹のたより

ふりふり 冬枯の野や

ふりふり 藤壺の梅壺

類皆難くたりふ香りと 心の花

ふりふり 心の花 木葉の

背四ツつくり 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

木葉の 木葉の

びり 一うみざしを。行器イカイツ

粉 一う化粧。月明の邊。へバ

米 米丹。和菓。二句去

面 一うさる。一ゆをぐ。ベントウ。一う

又。ヘイケ。モリ。一う平氏。一う

平家物語。三句去。あ

又。一う。音。三利。一うはぐ

飯。面。一う。一合。初。飯。器。平。一う

又。一う。一う。星。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

又。一う。一う。一う。一う。一う

句を門ノ冠木ニカケ
田一の甲矢二ツ
三句衣類ニ入
通の甲しニテ

鏡カミ 一ツ名也。一ツ月のやみ鏡也。
うゝとて、又てうゝとて、又てうゝとて

ふけ
又ふけ
ふけ
又ふけ

肩衝カヅツキ 二句ニク 釜カ 一ツイツ 鑪ロ 子コ

うゝのうゝは字ねふり
りゝのうゝは面をすゝ

物の子
二旬ち
竹馬
面をさ
丹
石

五章 二句まゝ入 松衣なり

木に二句ありをさふ。起。二。

葛カ龍リウ 一ウツ

又々々し魂三句也。タキハ木三句
△至三孤格七句也。タキハ木三句

杖ツヱ 二つ子二句をえ
神カミ ハミミ
臺物ダイモノ 二つ

田子桶

鳥子トリコ科カ 紙シ 子コ 由ユ 十ジュ 使シ

濟水
物三句
和
三句

又頭巾ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 中次ナカツキ

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

又ツキニ 一ツ冬ノ飾物也 二句也

一ツけの笛一ツ鹿笛一ツわきま
笙 簞簞尺八面とさうと

曆 一ツ曆一ツしんべん
年号一ツ又一曆一ツ冬一ツ 衣 吾

衣川衣手れ衣衣三句も
衣棚衣京衣取衣衣五句も 鈴 簾

一ツハノ字一ツしんべん
けり一ツしんべん 基 一ツ井一ツの泰

一ツ基一ツ基一ツ
て一ツあし一ツ 一ツあし一ツ

一ツて一ツたあ二句も
もう一ツのこ一ツ又一ツ 兵 服 一ツ

一ツ又一ツさぐね一ツ
一ツ又一ツ金一ツ粉 一ツ米

別の粉一ツ粉骨一ツ
外一ツ又一ツ 琴 一ツ又一ツ 琵琶 一ツ

鉄 一ツ鉄一ツ鉄一ツ
鉄 一ツ鉄一ツ鉄一ツ 天 目 一ツ

子 一ツ子一ツ子一ツ
子 一ツ子一ツ子一ツ 鉄 一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ
一ツ一ツ一ツ一ツ一ツ 一ツ一ツ一ツ一ツ

一

有花ハナ 正長タカナガ 長一チカヒト

いふて一名亦又一▲此にうゑる
人物のうゑるれく三季の抄

●
ムヒラ
眼 一ツ矢面
さふろニ百ち
●
エモン
本紋つる

衣[○]の[○]し[○]と[○]物[○]乃[○]一[○]文字[○]ニ[○]火[○]五[○]
二[○]句[○]さ[○]る[○]之[○]

螢火 狐火の似せ猶ハ七句まゝぢけも五
句しやけこうす木の火のうきこ三句まゝし

屏風 二ツ風

あふし
五ツ矢
おひん

矢を二句さうて 級 第三句を

七句まで
表具
又ろ
モスリ
君
ろ
ろ
川

直主 ヒタ、レ 一ツ衣 ヒ 糸 ヒ 束 ヒ 貢 ヒ 一ツ

毛モウ毛セン
毛モウ毛セン
毛モウ毛セン

餅 一ツ食せりちほり二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百

一ツ髪
面より
木綿
一ツ衣
木綿

しふ
羨^{セニ}
ちあ^{ハニ}
膳^{セン}
わ

主膳内膳
お^{セヨ}踏^{フミ}二^ニう^ウ

足皮ニハ二句をこ
扇子 セン・ス

炭 ろくそみ電
音 ろくそみ電

ボクといふ付句さうし

素ノ字ハツク
翠代黛山ハ面

▲眉墨一ツ翠黛山又ろ
助ろかすき

意類 三句去

行
びつ
ニウカニウツ若キ
ヌスル人

人好^コろ^ニ人^ハ男^ヲ好^ムム

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

いそろし 江海 ちたふ

ツテ
ツニ
二句
秋久
同
二
ハミ
タ
一

情^{ナカ}ろ^{ナカ}△^{ナカ}情^{ナカ}ろ^{ナカ}△^{ナカ}情^{ナカ}ろ^{ナカ}△^{ナカ}情^{ナカ}ろ^{ナカ}△^{ナカ}

ろ ▲ 常盤羅 彼ろろ

人香衣の香
伊達

名
一
一
一
一

めいさな常あし
▲妹のうりせとる
もせ。ハッ

面ツツ人。わび

がゆり
ろめう。つる
三

念者チシヤ一神

川一
ぎ
ら
一
に
ひ
よ
ぐ

背よりの中へさびく

一山一の煙片一ね一のふけ
 一我一ふね一休一入

[illegible]

皆悉く
小内へ入りニク

かろー 獲ー 魚をー
けりてき

怨心オンリヤ靈リヤ
うたまりをせうて
うみ二句を

娘女 つオキ
いホハ句体より。
悪ニ多クあり
ひく
衆

ノ口
▲ー了、建ーロー灰ー

げ木のふハ堅きなり
 公ス
 カニ
 王カク
 一ニ
 一ニ

[illegible]

親中
世親

草花いふ
知年入
口説

あびにふ中ほよび

ふみほしーとほしー

うーろやをき 井ノ口 宇宮 宇ノ宮 宇宮

符 戀 ニウニム 一 ウ 恋 ホ 恋 ホ

にノ割 一海 一心 一衣 一

一風 一病 一やせ 一おも

一 いふ 恋 ホ 恋 ホ

戀 ホ 山 名 山 名 山 名 傾城

自拍手 狂女 狂君 狂女 狂君 狂女

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

狂女 狂君 狂女 狂君 狂女 狂君

多

化多一 けろき一 枕の一

み

のあふち一 のあけ一 のち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

し

のあふち一 のあふち

鼻ハナ ちうと紙又あるし定あな

鼻ハナ のちあなしたふあなし一はな

鼻ハナ ちうと鼻ハナ が謀カカリ ちうけん

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

鼻ハナ ちうと鼻ハナ ちうけん 謀カカリ 二句まふ

文字
ゆけどろ 文字ノミ
お

くといふるも フ 音 付 付

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

とふれ 二 表 一 音 方 方

人の右 ウリ物あり冬ふしわす 休懐 自發よりし

龍 省つるを 石 く顔の 三万 ま

川 四萬列 二匹 ス 二匹 イ

ハ 字 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

三万 三 三万 三 三万 三

玉の者ト今トに表量品なり
 玉の者ト今トに表量品なり
 今より玉の法にハズレもく
 たより魂魄面をさる

▲今更々ぬ玉のきこたりぬ二句を
▲人のよの依_ニ虫の今面をすらすく
いふ_{ナカ}ぬ玉_ニ上_ニ結_ニす_{ナカ}
ぬ玉_ニ三句をす_{ナカ}す_{ナカ}

[illegible][illegible]

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

厶
 厶ノ字三つあり△はの字少く字
 厶より後ほゝりなり女ニリ
 厶先達三つあり○より
 厶更ニり候ハ

住座なる人の御座り。いふに、
はれの御座り。いふに、

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

此の二種又[○]兼て
なり

大太ガイタ

わをまふへき。高ハフ音共。ど
ふ。高ハフ音共。ど
ふ。高ハフ音共。ど
ふ。高ハフ音共。ど

たれ
又ろ
ふれ
ふれ
候
一

二
さ
け
ろ
ろ
鬼
玉
ノ
字

ニウ。だ。び。ニウ。ニシイ
七。ウ。シ。禮
イ。カ。リ。レ。と。れ。ん。の。下。知
イ。ウ。シ。イ。七。ウ。シ。イ。七。ウ。シ。イ

例二例なる病面と療台療養

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

ア 三つに二つをいふ。土産

四ツきし。なう。五白。あが。

一、述懐へお金一本三句をい
ねの字よりうけをきめず二句す

一ツは雨一雫の
 字表のまゝさす

此をとりかへし習訓さうそ
踊のまゝハ習訓ニもきよて

面をいふ。お文字

ゆきとひえつとせしむるノ字
ゆきのと又と二つをいふ三つ

七^ナノ字七^ナ句^クも霖^{リン}雨^ウね^ネ今^{イマ}分^{ブン}
二^ニ句^クも^モ音^{オン}フ^フめ^メも^モ必^{カナラ}ず

安の字。なびの青。あな

二
又

中
ハ
リ
ク
リ
ノ
カ
キ

しきり
ふ

ふ
は
す
け

あ字の中ニうし世のちや

ものゝちのちのち

成化元年

二万七千

ひしき子 人子の子

水子△之ニきんちん分

之世
子
之

七句
能

いりはかゝ又あゝ

ラシキ

狼籍をさふ

二、西條の
とらふくありとハナ

群鳥群鳥

君は君の
皆を正し
つゝ
村長

寺の村ハ二ノ寺
 寺ハ二ノ寺

▲秋村く 秋村く 村く 紅葉あり

行八重

二つ字の字七句とて
光を承けうにまてし

かゝるものなりハニテ。や文を

わきまをふくむひめや二万を
さうひめやとてよとふかし
わきまをふくむひめや二万を

又^c也。

中々
徘徊一
ふ
二
中
瘦

心 三 方 やうて 三 方

体
ス
ス
ヤ
ニ
や
山
所
有

やうに、
ふたつ
の

局書

周
御書

ほしきふりて
さうす。ま
あうの

石をわくく守りては

三

二條の字三つを

し 三つ 三つ 三つ 三つ

前

九ニ四々又あふし

名所のあり
上ニ

諸參進
眼ハナコ一ハナコ月ハナコ二ハナコ

[illegible]

三卷

月眼
 糸係一糸九字

自
 任ノ字
 希ノ字
 〇六

とぎふ 仁四沙 禾五ツ

中
之
卷
之
二
第
二
卷

ユウ
一四
二五

一、
二、
三、
四、
五、

此
 之
 所
 以
 不
 可
 不
 察
 也

中 和 平 面 を 以 て 緩 ^{ユルリ} 一 切
 又 一 切

行 三万七千七百七十七年。 行 三万七千七百七十七年。

五月 日人自いふかたハツる

るが、
五
三
二
一
同
利

見ニ銘^{メウ}刀ニ^ニ具^ク外^{ガイ}名^{メイ}人^{ニン}

七句是也。

三つをし、
一うめりおきて。

△目々座敷あす

月乃子
三万

目玉摺めたまじり 足守所あしもり 己おのれ

二字假名 あゝいゝうゝえゝおゝ

沖
コ
ン
キ
ヨ
と
ろ
お
い
音

柳ハナ 之ノ 花ハナ ちチ あア うウ 寸スン けケ のノ 南ミナミ
 柳ハナ 之ノ のノ 花ハナ ちチ あア うウ 寸スン けケ のノ 南ミナミ

二月二日

[illegible]

のきり
みより

清字法字
 抄三
 行章

又二ワ ミツクキ 山 仁隆

云云 此等 文字 乃 是 此 等 文字 乃 是

サレるすゝ体より

文孝二万石 右

省 考

三
ハ
ノ
ツ

又一古四ノ名ト又二

年又一の年又一
縁三

下 ^{ハフ}ト野ハフれ内ノ裾野。し

ノ字ニミレハニフミシヤシ

クハハミウ守様。し 為

リリてミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

ミフミシ。ハニフミシ

又さう
百五
字。
光の
字。

月日午二勺迄^{ヒカリノ字八}和^{ヒカリノ字八}光^{ヒカリノ字八}月日

紅電ヒタヤヨモリをうろく
りひうえてもふし
直隠ヒタヤヨモリひさす
あに露

わたりし。○
吾亦二百す
廿二人
二人のいふを
しるす。きく。す。

ひくく
時^二
膝^二
蟻^一

廣 ヒロ 貧 ヒニ

又、^ヒ又、^ホ又、^ニ
又、^ヒ又、^ホ又、^ニ

ろくろで。じりひき
二ヒメソノ
終自

れり。竹包きう
り。月三石ち
び。粉ニナ
るち。ハ

額 ヒタヒ 下 ヒタヒ 又 ヒタヒ 子 ヒタヒ 又 ヒタヒ 子 ヒタヒ

[illegible]

丙丁ヒト月ヒトハキヨウノ子。即チ

編ニ文字一了

古
了
了
挑
琴
弦
半
牽

物モノあり。り。あ。

上ノ句下ノ句ニ
リキテトシ
禁ニ
思の字初を

とらふハ
三句を
情
ニおの字憂
の字二をを
情

優色好 上下の句に
うそを穿つ ねふ

言申の口に振る文字は

文字のなりけり
イロハナニハ

三寶
りてう

三ノ巻
 月あり

の内より
 三ツモ
 二ツモ
 一ツモ
 三ツモ
 二ツモ
 一ツモ

唐 陽 又 子 尤 守 子 思

一ツ法自。二ツゆりせ道也

ハ校子ハ狹衣

スガ
初四
スハフキ
一ツ
わをこらう
す

わく
二の字をうける
たに

七ウニ小ニス○キカテ
二ウニ小ニス○キカテ
一ウニ小ニス○キカテ
二ウニ小ニス○キカテ
二ウニ小ニス○キカテ

集ニ
牧考
万葉一
ゆずく又万
抄量

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

下
か
^ニ
送
^一
送
す
す
ね
^ニ
を

都降阮詠

吸スウ 四シ 下カニ 裏スイ 敷ヒ 下カニ

[illegible]

ト。五
来く
と
子
司
ニ
ス
字

一、
二、
三、
四、

三ノ

四季

春
陽春 青陽 立春 孟春
東君 蒼天

正月

太
初
月
初
空
月
初
春
月

臘
月
正
月
二
月
三
月

元
日

ふたつを自れよりけふまへ

ちのあゝとと 秋ととと
 のゝのゝ 秋ととと

あはれ
三三始鶏且

四方拜

圖云元日寅ノ時
木命星多入ノ有之

早もろり
り佛

畫固 圖、ろり
ろりろり

わきふ ちのふくとう白

屠蘇トソ 白散ハクサン 度障散トショウサン 林酒リンシュ

朝賀

元日節會

七曜所屬
諸司類

少秋
今也

恆無小柄者

院并

祇園創いの祇園 えのち有 圖アリ

うさね祇 婆利賽 若夷

毘沙門切徳經元方棚 エハラタ

門松とろろ からけ 大飾

かき箭 大少 水

おろし おろし 日三

おろし おろし

おろし おろし

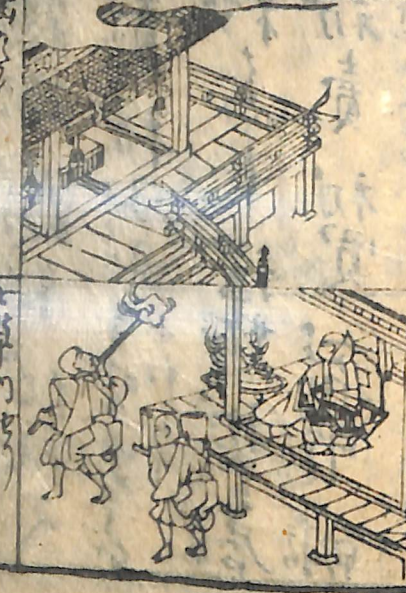
おろし おろし

おろし おろし

おろし おろし

おろし おろし

四方針



七草のち

七草のち



七草のち

七草のち



筆待 古茅 岩采

七種

三物

連哥 白萬歲樂 春駒

振舞 け鯛 桃符

白馬節會 七日 夕提 提卵

采摘河神事 七日 人日

帳内 津慶 箕尾富家

市修法 八月 女叙位 八日

常陸帶神事 夷祭 十日

縣召 八除目 十日 男踏哥

土鼓抄 十四日 三越打 十日

上元日 十五日 市彩 十五日

具足 廿一日 内宴 廿一日

仁壽殿 卅五日 福壽草

元日草 卅五日 東風 廿五日

子頭神 廿五日

厄神 廿九日

賭弓 十八日

二月

如月 仲春 夾鐘
小正月 花朝

秋奠

師も

初午

二月祭

東福寺さんり

春日祭

平比奈祭

四日

吉野

餅餅

大参

上卯日

二月堂

新の祭

七日ヨリ
十四日迄

遺教經

九日ヨリ
十五日迄

聖

二月のりん

いひのりん

浅

うら

十五日

積塔

十六日

社日

はらハ

海

しる

天王寺

聖靈會

十日

彼岸

時正

出替

臘月

夜

蛇穴

とら

白尾

蛇

すこ

約

の

う

多

の

え

け

り

あ

ま

燕

日

集

ま

る

白

ら

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う



る刀



苗代



凡



うらうら



りうこ

紅菊

きみ

鄭子

田中

煙

奇居虫

螺螄

初雷

雷の音

うらうら

初雷

うらうら

玉桂

うらうら

うらうら

うらうら

進樹

苗代

野

うらうら

やうやう

うらうら

オキ

うらうら

うらうら

うらうら

苗代

うらうら

三



二



バ
ム
虫



土筆 ツクシ 大キナ ナ 才菜

二葉のうさぎ
まが
蕨

蘇エラ
のびろきんう
りきんう
りきんう

菊真萩の
さきさき

角之口 其雄 主人

花 蔭 川 柳 外 花 魁

シカサリともわたり
浪々
鹿ノ角

魚を祭

三月

李春中姑

栢月

巳の日のけし

上巳ノ日

曲水

宴

桃花ノ節

三月桃の

合柳

須

寺寂勝會

鎮花祭

寒食

冬至ヨリ百五日

鞦韆

戲

土佐ノ

海視石取

栗津祭

水尾祭

中

吉野

土台

比良祭

古四日

四糸西今ノ

千本念佛

祭

市

福

入

二月日 晴氣 ちうと

まを結。言はさる。いふまゝの所

まをけさる。まをて。まをぬ

まをありや。けさる。わう

けさるの果。まをり

まを入る。まをぬ。まをの

まをいふはあし。まをぬ。まを

のやう果。摘貝。摘真

摘頸。摘る。づめ

まを鮎ふ。まを。まを子

三のまを。まを。まを

まを摘。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

まを。まを。まを

花の修方。花衣花の衣

花の夜。花車。花はり

花びし。花皿花の皿

花の舟花の舟。花軍花の軍

花の毒花の毒。花のり

花の縁花の縁。花の如花の如

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

花のり花のり。花のり

あゝせんたふれ

ふ



海棠

木蓮花



卯方枝

つたゝ類



口んまゐ

ちまゐ



河

土高花



あゝせんたふれ

あゝせんたふれ



いづるま



ふんね



あかん



丁子草



仙臺萩



眉作の花



なみ

橘

九子も

七重花

ぶねあかん

丁子草

馬蘭

金川花

仙臺萩

眉

花

ふあも

も植

三葉芥

名花

大根

三月菜

菜

ふ

花

ふ

山

花

表

山

衣

三月

夏

朱天 吳天

四月

卯月 巳月 卯の月 中呂

文太

一日。白重。...

...

拾。...

...

一日。...

大津祭

三脚。山科祭。...

平野祭

申日。松尾祭。...

廣瀬龍目祭

四日。梅。...

...

八。...

...

日。...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

多のりく

美人草



山ろくれ

厚朴の花



ちのろのれ

蕙



いづてき 山ろくれ

厚朴の花 機欄花 機

實 けり子 ずり子

黒保 葵 利根子 落葉

いづてき かんこち じんち

いづてき 鹿の

袋角 鈴鹿 子 鈴鹿

蚊 蚊 蚊 蚊

外の花 短衣 短衣

けき けき けき けき

安居 釈氏要覽 花

蛇 蛇 蛇 蛇

蕙 蕙 蕙 蕙

五月

つぎ月を月 なる月
仲夏 難賓 卑月

賀茂 忌探

初五日。あつち 胃

肉脰司いあは 山城のしんり

五日、節を ああろ 五

節 首を 水根 首を

草のり 草を 草を

さつきの玉 長金 壁兵 末日

草を摘 百多摘 草を

九子 げろけの 又入

浦入 粉園を 浦和園 自園

百多と戦 園を

五月、島 五月

競渡 舟車 小馬 五月

馬身 馬を 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

あつち 五月

江戸の市田植はつ目入 山田やま

市田植いちでん ばらばら 山やま 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日

五月ご 月げつ ぬぬ まま せんせん 花はな の ぬぬ ぼぼ ぬぬ 廿八日



わらわ

けしきの花



うきうき

うきうき



イナチ
コ
子
ありこ
ありこ
ありこ
天竺

[illegible]

五ノ草 あうざ 兎

[illegible]

橋 はし
あ あ
る る

生加和
り
あり、

五月廿六日
花柳櫻
杏

柿の皮
きんぎょ
きんぎょ
きんぎょ
きんぎょ
きんぎょ

早稲の社
 乙ウチ梶カキの社

木ヒ
杷ハ
アヲセンコトナク
木
ヨリ
ニ年

カ
ラ
ト
ス
カ
ナ
ハ
カ
ク
サ
ハ

藥アはく
非ホ稗ハ胡コ大タ禾ホ
乃ノとト以ヨ六ロク月ゲツノ
筆ヒツ

新
し
く
な
る

八
 加
 〇
 〇

螢火
蚊オモ遣アリ火
蝸牛カタナシ
蛆ウジ

ミツトリ ス
あまの果
○クサナ
あまの
カモ
あまの

の子[○]
 もなう^ケ
 鷹^{タカ}
 るう

けい
い
侍
けい
の
侍
けい
の
侍

人
移舟
莫
打
占

鹿子カコ 照射オトシ 火串カシ

新の巢
小解
づる

魚
鱈^{ハム}
魚^{エソ}
魚

蛇
虎
抵

三
市藥使
增

六月
五月
四月
三月
二月
一月

氷室 一日氷室の側 氷室の側 氷室の側

六月五 胃胃竹葉
忌自忌自
祇キ 辛辛
辛辛 辛辛
辛辛 辛辛
辛辛 辛辛

柳原系
 十四十五
 尾州
 窪田系
 アツタ

十言
十言

中
江
山
日

神と合シ
ン
ゴ
ニ
キ
上日伊勢志摩三津御座
付也々々々々々々々々々々

一。
 新酒 ヨサケ
 三ヶ 醴 シメツ 子 シメツ 酒 シメツ
 々々送々 シメツ 酒 シメツ 子 シメツ 酒 シメツ

十六日 伊勢 伊勢

十六日十七日
ハルタ
情あふ
十六日十七日

志渡寺シワツテ 十七日ニナニチ 方以孫ハタチノミチノ

光日
富子
一月、りろ

下ノ子大月六月ニテ

鞍馬の竹切ハレタテ 雲客

子伯子伯

天テン 簡カン 天テン 秋シュ 穰ミツキ
九月九月 大オホ 垣カキ

摩多系 二百
加
茂水 三
月 十
結 キノウ

廿日
一
の
ニッキ
援
廿日
唐カラ

海島即ち
日土二月三
り

夏秋
小愧

徳久保 甘旨

都七難

てろまう久あし後

[illegible]

三伏サンフツ らうく 書言 あう 二

田ノ虫送

石 固 軍 抱

竹奴竹婦人。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

と鴨子のあかしはききとて。風

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

ふふ。新スミ月ツキ涼スズメ。納涼

新スミ月ツキ涼スズメ

納涼

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

竹奴竹婦人

新スミ月ツキ涼スズメ

納涼

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

ふふ

八日。七夕。あさふいふけうりのひ

いこり 星あふり けふ 星の發
星あふり 城女 牛女 河鼓 女々々

かき ちのり 牽牛。わづな

銀河 銀浪ニ銀葉星河。
やうなうは 修治。やう
年の

ワカ
一斗は一斗のものをワカ
りしとて、あつとワカ

業^ツ遠^{ムカヒ}舟^{フナ}
た空^{カラ}と海^{ウミ}舟^{フナ}
カ
所^{トコロ}

中
の
落
し
の
格
秋
ら
む
ユ
モ

七タノ
具入
モカ
カ
テ
ニ
モ
カ
テ
ニ
モ
カ
テ
ニ

キツ
し
針
り
カ
柄
の

氣 辛^{イロ}ハ 藥^ハの 病^ハ 治^ルの 方^ハ

七月十八日
洗車雨ヒシヤウ 六月

洒渡雨サイツメ
本願寺ホンガンジ花ハナ

七夕ハルヒノチ
七夕ハルヒノチ

六道ロクドウ象ゾウ 九日建仁寺而ニキカヒ栴セン質シツ
跡皇寺スミミヤ八ハチ人ヒト栴セン質シツ

清少子日
中元日

孟蘭盆 ウラナホシ セグミ ●シユ 入 エ

本山當山共七月之
文珠會正月五日
八月

西寺子
張
聖靈棚
棚經

松之根 美々々 口米

中
 力
 玉
 金
 銀
 灯
 籠
 金

●
月佳小断をり

[illegible]

五日午ウツノニ火カ 十六日ウツノニ火カ

大。あけなひ

飛垂の天
十八日

卷之二

ヤシヤシ 中切中切 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

山慈姑山慈姑 花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

花花 葉葉 草草 花花 葉葉

皇太子 尊号を奉る 乙未の春

初冬 乙未の月 小の月 けしき

秋の月 けしき 秋の月 けしき

冬 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

八月 乙未の月 小の月 けしき

赤^{アカ} 花^{ハナ} 野^ノ 花^{ハナ} スギ ありき 花

花^{ハナ} 萱^{ウナ} ハナ ありき 花

花^{ハナ} 檀^{タン} 持^チ 花^{ハナ}

花^{ハナ} 月^{ツキ} ハナ ありき 花

花^{ハナ} 草^{クサ} ハナ ありき 花

花^{ハナ} 野^ノ 花^{ハナ}

花^{ハナ} 金^{キン} 剛^{コウ} 花^{ハナ} 馬^バ 牙^ヤ

花^{ハナ} 紅^{ベニ} ハナ ありき 花

花^{ハナ} 草^{クサ} ハナ ありき 花

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ} 花^{ハナ}

くさくさ

あき



くさくさ

あき



くさくさ

あき



くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

初鮎 江鮎 鮎

野分 秋 田を尋 田の

毛見 田の 福葉 田の

くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

くさくさ 秋のつる 紅葉 康留

九月 九月 九月 九月

九月 九月 九月 九月

九月 九月 九月 九月

極文相撲 八月・九月 泉涌寺

舍利會 八月 重陽宴會

醍醐祭 九月 御賀文

伏見 福子祭 九月 寺布

同日 生玉祭 大坂 四宮祭

大津 下町祭 十日 例幣

太秦牛祭念佛會 十二日

住吉相撲會 十三日 住吉市

同日室の事 白河祭 同日

栗田口祭 十五日 林田祭

天王寺 一乗寺 十間

岩倉祭 小山 小倉祭

勸学會 二月 一宮祭

山口祭 中巳午 王城祭

八幡花の頭 修善寺 城南

手系 日蓮寺 満清院馬

大坂 淀祭 二日 木幡祭

麻谷祭 同日 送迎祭

小山祭 同日 福寿祭

歩立神 水宮 湯祭 廿八日

村祭 里 文力

月令
 菊キク
 菊キク
 秋アキ
 百菊ヒャクキク
 大白オウギ

温君子。
 子。

九月九日

菊の夜
 標 ハシ ユウ ミ
 重人すゝ
 なす ハシ

中を今もうへに
五五五のうへに
七三十一
即ち衣
衣

獸主
今月
○三十三
紅糸
いろんきうりゅう
いろんきうりゅう

川のたふさ 雲を流すも秋
まろふもいふも秋
梅の花

梅のしら梅のしら
名本らう

秋夕
秋夕

早本あり
早本あり
楓
文久好松い

てし 河古 松の文 木実部

歩の八月

三



卷二

まゝ



うのゑ

名



どろ栗 どろ栗 ころもろ ころもろ

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎 榎

果李ハ天



松子



くろ木

シラ



つゆ



もろ



尾越の鴨 細代并 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

あけぬ 月名 秋 月名 秋

冬

元英 上天 玄帝 律植

十月

十月 十月 十月 十月

更衣

更衣 更衣 更衣 更衣

一日天皇... 二秋の... 三秋の... 四秋の...

牡丹アユハタニづゝのむカンキ

八手ハテ花ハナ・中葉ナカエフ・

るんりルンリ・まきマキ・ハツニキ・ハツニキ

秘水ヒミズ・さカ子・ヒミ・ヒミ

そのしそのし・そのし・そのし

定サ・サ・サ・サ

水魚ミヅイサ・ミヅイサ・ミヅイサ

あア・ア・ア・ア

そのあそのあ・そのあ・そのあ

骨ハネ・ハネ・ハネ・ハネ

櫛ハシ・ハシ・ハシ・ハシ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

十一月イッパツ・イッパツ・イッパツ

曆リキ・リキ・リキ・リキ

設置チシ・チシ・チシ・チシ

そのあそのあ・そのあ・そのあ

相掌系 上春日祭

恩智 主富 葛本 葛本 紀伊

宗像系 春日日 山科系 春日日

平野系 上春日日 春日系 春日日

杜木系 春日日 當山系 春日日

車川系 上春日日 梅宮系 上春日日

南系 春日日 中山系 春日日

大原系 春日日 大原野系 春日日

園韓神系 春日日 吉田系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

みどり系 春日日 みどり系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

日吉系 春日日 日吉系 春日日

火燒子糸
子目人
心

大師講オ胃ホシ地シ生シ海カ部ハ

丙子年八月
 祭
 丙子年八月
 祭

三鴻三西市市中ノ西中ノ西日人日人客

六の氣 おのれ 法書 もれ右
七の氣 おのれ 法書 もれ右

智つて 智け 智るなり 智
 たり 智佛 智母 智仏 智子

右の如く
名を以てし
○ツラ、

電 氣 水 車

凍水

太山松 冬も花

葱

狩場の名子
あまきき
狩将

今へ至　わやう　もまをまよふ
 近き

字勢奇
 煒々々々
 勢迫
 初録

少廉
舌色
木父魚有

●ユキクツ
●ソチヌキ
●ソ

車クルマの
機ウヰ
玉タマ子コ酒サケ

十二月
正月 二月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 十一月

子持別日 忌火水飯

月欠祭 土月 神今食 育

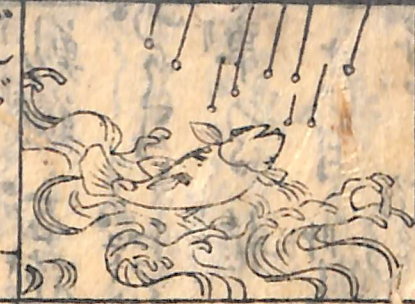
月六月
大^{オホ}神^{カミ}祭^{マツリ}
四月日
天^{テン}智^チ

皇太后國忌 三月 廿九日 始祭

つゝのれ



杜父魚



かんざう

ハツて



り



北銀



遷槽 八朔 寂勝寺ノ

灌頂 十五日 い 憍安居頭ノ

内侍 十九日より廿一日まで

荷おはの定 十三日古帝后ノ

河内 下午日 内侍

河内 大井月 和布

大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

夜 大井月 開

小海自^{ミヅウミ}おし^シ海^{ウミ}波^{ナミ} そのまゝ

果^ミ来^キ 果^ミ尾^ビ 果^ミ年^{ネン} 果^ミ海^{ウミ} 果^ミ来^キ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

果^ミ年^{ネン} 果^ミ来^キ そのまゝ

上
モテ

入韻ノ字ニ定

面八句 漢四句 和四句 内漢對

句一所有 大法漢ノ唱合ナレハ八句メハ

和ノ和漢ノトキハ八句メハ漢ナリ
舉句モ此例ノ和漢ノトキハ和ニ
韵字ナレ又韵
用モアリ

一百句和漢五十句ツナリ

或ハ一二句ノ多少苦

花四本 和ニ句 漢ニ句 隔番スヘ

月七ツ和漢スヘ 或和ニ句
漢ハカリニ句四句
ツキテモ苦ナラス

雪四ツ和漢スヘ一方不苦

二句ノ物ハ 漢一句 和一句 其外

異名ナトニ 和漢

出カチニ句ノ

一通字上ノ字 ハナナ 嫌フ

下ノ字ハ苦レナラス

一韻用サル文字ハ和漢共

遠慮シテ用ヘキ

一五句去七句去物ハ韵

近六言子言
三入海當報

鄭白雲端正言

五言古詩

燃香龍火

非風行風

二六二

雜之俚語

卷之三

二、頤之

年來之世談

一氣形生植數量朱引隨

本例可隔二聯哭財食

服隔式聯可並通用之

數量虛押之字遇三十

句則可再用不可三

同字例重用テ于人名ル比

名亦可也

若用熟語則雖爲五字

一平應許之

假名書川集

月
山
米

蠟
夾

與

鄭
經
正

初滴影冥迹

蹤

不與紫八作意

面一句之內不可米

列三折裏不可好味

引

脚句ハ百韵ニ處有レ

脚句ノ下ノ韵字跳字嫌

對句ノ平仄平仄イカハルニ

余ハ連句式也

南乃溟玉津鴻松

ノ處ありは〇小四

多ミ子ミ氣ミ吐ミ土ミキミ七ミ月ミ

和方乃山ニあり人

ふれぬ村ノ端の虫

鳥〇ノミミミミミ

と何ミミミミミ

草ミノミミミ

くす

仲秋日

山下

松岡信德



書林

秋田屋

江戸十圓棚

十兵衛

森田

大坂法堂前

庄太郎

秋田屋

京寺町

五郎兵衛

皇朝文獻通考